

9月11日(土)～11月7日(日)、「没後100年記念 エミール・ガレ展」開催

神秘と幻想の世界に触れて

サントリーミュージアム[天保山]



「月光色かまきり文花器」1878年頃



巨大スクリーンが、より一層物語をスリリングに!
© 2004 Warner Bros. Ent. © Warner Bros. Harry Potter Publishing Rights © J.K. Rowling

今年で開館10周年を迎える、サントリーミュージアム[天保山]では、9月11日(土)～11月7日(日)に「没後100年記念 エミール・ガレ展」が開催されます。

エミール・ガレは、19世紀末から20世紀初頭にかけて花開いた「アール・ヌーヴォー(新しい芸術)」期を代表する、フランスの芸術家。神話の世界や、花、森、海などの自然界をモチーフに、情緒ある幻想的な作品を生み出しました。その独自の表現世界は、ほかの多くの作家に影響を与

え、中でもガラス工芸は「ガレ」によって近代への展開が始まったとも言われているほど。

今回の展示では、神秘的な魅力を放つガレのガラス作品を、彼の創作活動において重要な転機となった、3回のパリ万博を軸に展開。さらにガレが制作した陶器や家具、同時代の装飾工芸品も展示。ガレ芸術の全容と、彼が活躍した世紀転換期のフランス文化を感じることが出来ます。

今なお人気の高い、エミール・ガレ。時代を超えた美しさは、私たちの美的セ

ンスを十分に刺激してくれそうです。

期間 9月11日(土)～11月7日(日)

休館日 毎週月曜日(9月20日、10月11日は開館)

時間 午前10時30分～午後7時30分(入場は7時まで)

入場料 大人1,000円。

※11月3日(祝・水)の開館記念日は、「エミール・ガレ展」の入場は無料。

巨大スクリーンでは、「ハリー・ポッター」に会える!

ミュージアムの中で、もう一つ見逃せないのが、巨大スクリーンでおなじみの



「昆虫風景文飾棚」1900年頃



「ひとと茸ランプ」1902年頃

のアイマックスシアター。普通の映画館のスクリーン約10倍の大きさを誇ります。こちらでは現在、大ヒットシリーズの第3章「ハリー・ポッターとアズカバンの囚人」を上映中。本格的なファンタジーとしても完成度の高いハリー・ポッターの世界を、迫力あるスクリーンでぜひ体感してみてください。

上映期間 10月1日(金)まで

上映開始時間 午前11時

午後1時45分、4時30分、7時15分(1回142分。日本語吹き替え版)

入場料 大人1,800円

(毎週水曜日のレディースデーと、毎月1日の映画の日は1,000円)

休館日 毎週月曜日(9月20日は開館)

問い合わせ サントリーミュージアム[天保山]

☎06(6027)0001

http://www.suntory.co.jp/culture/smt/